

「e-とくしま推進財団行動計画」重点事業評価シート 最終評価

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)						実績値						H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項		
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30					R1	R2
1	ICT(愛して)とくしま創造戦略 ●県と連携し、ビジョンの達成に寄与するプロジェクトの推進と進捗管理に努めます。	推進	→	→	→	→	→									<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>・徳島県の総合的なICT戦略である当戦略の推進にあたり、当財団は、全20プロジェクト中、2プロジェクトについて進捗管理を行っている。 また、県地域振興課とともに、H27年度から『ICT(愛して)とくしま推進』プロジェクトを実施している。</p> <p>[H27年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTとくしまフォーラム・ICTとくしま大賞の実施 (主催 徳島県、(公財)e-とくしま推進財団) ・最新ICT技術の祭典「とくしまICTバザールvol.1」の開催(11/7、8) ・ICTに関するワークショップ(5回)(県主催) <p>[H28年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTとくしまフォーラム・ICTとくしま大賞の実施 (主催 徳島県、(公財)e-とくしま推進財団) ・「とくしまICTバザールvol.2」(2/3、4) (主催 徳島県、共催 ダイワボウ情報システム(株)) ・ICTに関するワークショップ(3回)(県主催) <p>[H29年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTとくしまフォーラム・ICTとくしま大賞の実施 (主催 徳島県、共催 (公財)e-とくしま推進財団、ダイワボウ情報システム(株)) ・「とくしまICTバザールvol.3」(2/2、3) (主催 徳島県、共催 ダイワボウ情報システム(株)) ・ICTに関するワークショップ(3回)(県主催) <p>[H30年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTとくしまフォーラム・ICTとくしま大賞の実施 (主催 徳島県、共催 (公財)e-とくしま推進財団、ダイワボウ情報システム(株)) ・「とくしまICTバザールvol.4」(2/15、16) (主催 徳島県、共催 ダイワボウ情報システム(株)) ・ICTに関するワークショップ(6回)(県主催) <p>[R1年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTとくしまフォーラム・ICTとくしま大賞の実施 (主催 徳島県、共催 (公財)e-とくしま推進財団、ダイワボウ情報システム(株)) ・「とくしまICTバザールvol.5」(1/24、25) (主催 徳島県、共催 ダイワボウ情報システム(株)) ・ICTに関するワークショップ(5回)(県主催) <p>[R2年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTとくしまフォーラム・ICTとくしま大賞の実施 (主催 徳島県、共催 (公財)e-とくしま推進財団) ・とくしまICTバザール、コロナ禍で開催せず。 ・ICTに関するワークショップ、コロナ禍で開催せず。 <p><達成状況> ◎</p> <p><課題></p> <p>令和3年度は、新たにデジタルとくしま推進プランがスタートすることをふまえ、県とより密接に連携し施策の推進を図る必要がある。</p>	<p>・おおむね県と連携しプロジェクトの進捗管理ができた。引き続き県との連携を図る。</p> <p>・ICTとくしま大賞において、e-とくしま推進財団賞を継続的に実施する。</p>	A	<p>コロナ禍において、感染の状況を見ながら、事業の進め方については、リモートなど創意工夫して取り組んでいきたい。</p>

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)						実績値						H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項				
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30					R1	R2		
2	普及啓発 ●多種・多様な普及啓発を図り、利活用を促進します。	促進	→	→	→	→	→	→										<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>[H26年度] ・ケータイ安全教室、情報モラル・セキュリティコンクール、ICTとくしまフォーラム(再掲)、e-とくしまビジネスセミナー、SNS利活用講座を開催</p> <p>[H27年度] ・ケータイ安全教室、先端技術セミナー、情報モラル・セキュリティコンクールを開催 ・ICTとくしまフォーラム、e-とくしまビジネスセミナーを開催</p> <p>[H28年度] ・ケータイ安全教室、先端技術セミナー、情報モラル・セキュリティコンクールを開催 ・ICTとくしまフォーラム、e-とくしまビジネスセミナーを開催</p> <p>[H29年度] ・ケータイ安全教室、先端技術セミナー、情報モラル・セキュリティコンクールを開催 ・ICTとくしまフォーラム、e-とくしまビジネスセミナーを開催 ・先端技術セミナーのテーマ 「IoT+AIがつくる次世代農業」</p> <p>[H30年度] ・ケータイ安全教室、先端技術セミナー、情報モラル・セキュリティコンクールを開催 ・ICTとくしまフォーラム、e-とくしまビジネスセミナーを開催 ・先端技術セミナーのテーマ 「ICTによる人とのコミュニケーション技術 ～音声認識・脳情報通信とAI～」</p> <p>[R1年度] ・先端技術セミナー、情報モラル・セキュリティコンクールを開催 ・ICTとくしまフォーラム、e-とくしまビジネスセミナーを開催 ・先端技術セミナーのテーマ 第1部「徳島県におけるRPAの導入と展開」 第2部「RPAの現状と今後の展望」</p> <p>[R2年度] ・先端技術セミナー、情報モラル・セキュリティコンクールを開催 ・e-とくしまビジネスセミナー、ICTとくしまフォーラムを開催 ・先端技術セミナーのテーマ 第1部「製造業における5G利活用について」 第2部「5G時代の農業ICT」 ・e-とくしまビジネスセミナーのテーマ 第1部「『8K阿波おどり』～NHK徳島の取り組み」 第2部「Under/Post COVID-19における生体認証の役割・技術最前線」</p> <p><達成状況> ◎</p> <p><課題> 日進月歩のICT技術に対応して、普及啓発内容を常に見直していく必要がある。</p>	<p>・IoTやAI、5Gなど新たな技術の活用を図るための普及啓発活動を実施し、ICTの利活用に努めた。</p> <p>・情報セキュリティに関する脅威が多様化しているため、ICTの利便性とともに、情報モラルやセキュリティへの普及啓発にも力を入れていく必要がある。</p>	A	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程(年度別事業計画)							実績値							H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2					
3	●インターネット等の利活用に係る情報モラルの向上を図るため、研修会を開催します。	推進	→	→	→	→	→										<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>・インターネットや携帯情報端末の利用について、児童生徒等に対して、情報モラル・セキュリティに関する研修会を開催した。</p> <p>[H27年度] 撫養小学校、一般向けセミナー、桑島小学校</p> <p>[H28年度] 吉野川市種野小学校、吉野川市川田小学校、石井町浦庄小学校、阿波市市場小学校、鳴門市板東小学校、石井町高原小学校、海陽町穴喰小学校、阿南市平島小学校、三好市善蔵小学校、北島町北島中学校</p> <p>[H29年度] 徳島市津田小学校、神山町神山中学校、鳴門市明神小学校、那賀町相生中学校、阿南市羽ノ浦小学校、徳島市方上小学校、阿波市市場小学校、吉野川市学島小学校、吉野川市上浦小学校</p> <p>[H30年度] 徳島市新町小学校、鳴門市撫養小学校、徳島市津田小学校、阿南市見能林小学校、徳島市宮井小学校、鳴門市里浦小学校、松茂町喜来小学校、吉野川市上浦小学校、阿波市市場小学校、藍住町藍住東小学校(2回)、北島町北島南小学校</p> <p>[R1年度] 吉野川市鴨島東中学校、鳴門市大津西小学校、藍住町藍住東小学校(2回)、海陽町穴喰小学校、吉野川市森山小学校、三好市白地小学校、小松島市和田島小学校、阿南市岩脇小学校、阿南市見能林小学校、阿波市八幡小学校(2回)、阿波市市場小学校、阿波市市場中学校、吉野川市知恵島小学校</p> <p>・生徒の反応をみて随時学年に応じた内容・説明を工夫・改善した。 ・学校の要望に応じ、内容を追加修正した。 ・(新)当財団と県警との研修会の内容や実施状況について情報共有を図った。</p> <p>[R2年度] 阿南市岩脇小学校、阿南市羽ノ浦小学校(2回) ・コロナ対策として、羽ノ浦小学校の2回については、オンライン開催。 ・コロナ禍により学校からの申込が減少した。</p> <p><達成状況> ○</p> <p><課題> 1人1台端末などGIGAスクール構想が進む中で、とりわけ児童生徒の情報モラルの向上は重要であり、講習内容のさらなる充実などに取組む必要がある。</p>		A	
	② 0回 →R2 15回	0回	3回	10回	9回	12回	15回	0回	3回	10回	9回	12回	15回	3回						

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程(年度別事業計画)							実績値							H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2					
4	<p>●国や県内経済団体との連携を強化します。</p> <p>○国や県内経済団体が徳島県内で実施するセミナー等の後援件数 ② 2件 →R2 5件</p>				2件	2件											<p><H29～R2取組内容と進捗状況></p> <p>[H29年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決に向けた技術セミナー@徳島(主催:総務省四国総合通信局) ・「IoT導入セミナー」～やさしいIoT入門～(主催:総務省四国総合通信局) <p>[H30年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度「電波の利活用セミナー」(主催:総務省四国総合通信局) ・「四国コンテンツ映像フェスタ2018」上映審査会及び表彰式(主催:総務省四国総合通信局) <p>[R1年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度「電波の安全性・利用環境整備に関する説明会」(主催:総務省四国総合通信局) ・IoT体験セミナーin徳島(主催:総務省四国総合通信局、共催(公財)とくしま産業振興機構ほか) ・デジタルコンテンツビジネスセミナー(AI・ビッグデータ編)(主催:(公財)とくしま産業振興機構) ・デジタルコンテンツビジネスセミナー(IoT編)(主催:(公財)とくしま産業振興機構ほか) ・Society5.0に関する技術セミナー@徳島(主催:総務省四国総合通信局ほか) ・デジタルクリエイティブプログラマー養成講座(初級編)(主催:(公財)とくしま産業振興機構) ・総務省 働き方改革セミナーin徳島(主催:総務省四国総合通信局、共催徳島県ほか) <p>[R2年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IoT体験セミナーin徳島(主催:総務省四国総合通信局、共催:(公財)とくしま産業振興機構ほか) ・四国情報通信懇談会 ICT研究交流フォーラム(主催:総務省四国総合通信局) <p><達成状況> ○</p> <p><課題></p> <p>引き続き連携を密にして、より多くの参加が得られるようにする。 情報提供を積極的に行い、活動内容の広報の充実努める。</p>	<p>・連携をより強化することにより、会員や県民へ最新のICTに係る情報や体験する機会を提供していきたい。</p>	B	

番号	主要事業名・事業概要・数値目標	工程(年度別事業計画)						実績値						H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項		
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30					R1	R2
5	<p>●メールマガジンを発行する等、関係団体や賛助会員に対する情報発信を強化します。</p> <p>㊤ 7回 →R2 30回</p>				7回	24回		30回				7回	24回	29回	14回	<p><H29～R2取組内容と進捗状況> [H29年度] 主に総務省四国総合通信局から提供された情報を会員宛に発信 [H30年度] 総務省四国総合通信局、経済産業省四国経済産業局、徳島県等から提供された情報を会員宛に発信 年2回のe-とくしま推進財団通信を発行 [R1年度] 総務省四国総合通信局、経済産業省四国経済産業局、徳島県等から提供された情報を会員宛に発信 年3回のe-とくしま推進財団メールマガジンを発行 [R2年度] 総務省四国総合通信局、徳島県等から提供された情報を会員宛に発信</p> <p><達成状況> ○</p> <p><課題> より幅広く情報収集し、積極的に発信すること。 マスコミ機関への資料提供も含めて、より幅広く新たな情報発信の方法を検討していく。</p>	<p>・関係機関からの情報収集に努め、会員に有意義な情報を継続して発信していく。</p> <p>・資料提供等によりマスコミ機関等を通じて、情報発信を行った。</p>	B	<p>マスコミへの資料提供も含めて、情報発信を充実していきたい。 また、財団ホームページをはじめ、既存の情報発信の内容も充実を図っていきたい。</p>

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)						実績値						H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項			
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30					R1	R2	
6	地域貢献 ●ICTを活用した地域の情報化を支援し、地域の活性化に貢献します。	推進	→	→	→	→	→	→									<p><H26～R2取組内容と進捗状況> ・各種団体がICTを活用し、地域における様々な課題を解決する場合に、その解決策の相談や活動の支援を行い、ICTの利活用の促進を図る。現状は下記番号7～18の事業が中心である。</p> <p><達成状況> ◎ (番号7～18の総合評価として)</p> <p><課題> 各種連携による、ICTスキルの習得やマッチング。 賛助会員事業運営委員会を通じて、更なる意見の聞き取りを行っていく。</p>	・ICT利活用の普及に一定の効果があった。	A	
7	●本県の暮らしの窓口というべき「とくしまポータル」の運営拡大に努めます。	推進	→	→	→	→	→	→									<p><H26～R2取組内容と進捗状況> [H27年度] ・総務省ふるさとテレワーク事業の「地域実証事業コンソーシアム」(代表:JCITテレワークカーズ・ネットワーク)に参画し、生活支援クラウドポータルサイトの構築に「とくしまポータル」との情報連携を推進</p> <p>[H28年度] ・情報提供・運用管理を実施</p> <p>[H29年度] ・情報提供・運用管理を実施 ポータルについての意見交換(2回)</p> <p>[H30年度] ・情報提供・運用管理を実施 ポータル機能の検討</p> <p>[R1年度] ・情報提供・運用管理を実施 ポータル機能の検討</p> <p>[R2年度] ・情報提供・運用管理を実施 ポータル機能の検討 「とくしまポータル」でPR～東日本大震災から10年～(応募2件)</p>	<p>・最近のICTを取り巻く環境を踏まえポータル機能について意見交換及び情報収集を行い、今後の情報発信の方法・内容等について検討を行う。</p>	C	<p>スクラッチ開発であり、機能を充実させることが難しく、廃止も含めた抜本的な見直しを検討していく。今後は、財団ホームページ等の利用など、情報発信の在り方について検討していく。</p> <p>また、アクセス数がジリ貧となった要因として、ポータルサイト開設当初は類似するホームページも少なく、存在価値が高かったが、現在は類似するサイトが充実し、SNSでの情報発信の増加などもあるため、アクセス数が減少していると考えている。</p>
	○ヤフー、グーグルなど主たる検索サイト「徳島 イベント」キーワード検索順位 ㉔ 1位 →R2 1位	1位	1位	1位 ～3位	1位 ～4位	1位 ～8位		1位	1位	1位	1位 ～3位	1位 ～4位	1位 ～8位	1位 ～8位	圏外	<p><達成状況> △</p> <p><課題> とくしまポータルをとりまく状況をふまえ、情報発信の方法及びポータル機能について、廃止も含めた抜本的な見直しを検討する必要がある。</p>				
	○1日あたりのアクセス数 ㉔ 530件 →R2 800件	530件	539件	368件	266件	187件		800件	524件	539件	368件	266件	187件	135件	115件					

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)							実績値							H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2					
8	●CMSサービスの円滑な運営のため、システムの機能強化を図ります。	強化	→	→	→	→	→	→									<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>[H26年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用学校数の増加と保存データ量の増大に伴う性能強化策として、①サーバーメモリの容量追加、②データ保存領域の容量追加、③バックアップ領域の容量追加を実施。 <p>[H27年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫緊の課題であるサーバーの高負荷対策としてサーバー台数の追加。同時により堅牢で信頼性の高いデータセンターにサーバーを移行。テスト環境の整備は見送り。 <p>[H28年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> CMSに、攻撃を感知しアクセス制限を行う設定を導入 テスト環境は常設とせず、必要が生じた際に契約することとした。 <p>[H29年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校CMS、図書用サーバーはサーバー管理会社のメンテナンスによりアクセス速度の改善及び負荷軽減が行われた。 テスト環境については、仮想PC環境にて構築することである程度本環境に近いものが用意出来た。 <p>[H30年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校CMS、図書用サーバーもバックアップ方法の自動化等改善を図った。 サーバー攻撃対策の運用最適化検討・実施 テスト環境の構築、作業用PCの整備 	<p>・セキュリティ強化のため、HP(NetCommons)のバージョンアップを実施した。(R2年度は主に学校を対象)</p> <p>・HPのバージョンアップ・サービスの向上を目的としたサーバー強化のための準備する。(実施・運用はR3年度から)</p>	B	
	○サーバーメモリ、データ保存領域の容量追加、バックアップの整備 ⑥ 整備	整備	増強 整備	増強 整備	増強 整備	増強 整備	増強 整備	整備	整備	増強 整備	増強 整備	増強 整備	増強 整備	増強 整備	増強 整備	<p>[R1年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> サーバー環境の見直し(マシンスペックが過剰になっているサーバーをダウングレードし、R2年度以降のリニューアル版図書システムへの移行及びHPのNetCommons3以降用サーバーを用意できるように検討) <p>[R2年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> R3年度から学校向けに動画や各種ファイルのアップロード可能なファイルサイズ上限値を上げるためのサーバー準備 				
	○テスト環境の整備 ⑦ 整備		見送り	検討	検討	整備			見送り	検討	検討	整備	整備	整備			<p><達成状況> ○</p> <p><課題></p> <p>引き続きサーバーの高負荷については監視を継続。</p>			

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)							実績値							H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2					
10	●図書運営の利便性、業務効率化のため、学校図書システムのサービスを提供します。	推進	→	→	→	→	→	→									<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>[H26年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規申込学校数 阿波市伊沢小学校 他3校 <p>[H27年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規申込学校数 阿波市八幡小学校 他1校 <p>[H30年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書システム機能について意見交換 図書システムのリニューアル検討 図書システム(リニューアル版)の意見交換(1回) <p>[R1年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> リニューアル版図書システムの運用(撫養小学校, 北島中学校) 新規申込校 北島中学校 	<ul style="list-style-type: none"> 操作研修, Q&A対応, トラブル対応など, 円滑に図書システム運用支援を行うサポート体制の維持した。 現在図書システムをご利用いただいている学校の図書システムをすべてリニューアル版へ移行を完了した。 	B	
	②38校 →R2 50校	38校	39校	39校	39校	38校		50校	39校	39校	39校	39校	38校	39校	40校	<p>[R2年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> リニューアル版図書システムの運用 新規申込校 御所小学校 <p><達成状況> ○</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き運用支援に取り組むとともに, 利用者ニーズを踏まえた図書システムの機能改善に努める。 サービス提供の拡大を図る。 				
11	●図書運営システムの利便性向上のため、システムのリニューアルを実施します。 ①)リニューアル															<p><H30～R2取組内容と進捗状況></p> <p>[H30年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書システム機能について意見交換 図書システムのリニューアル検討 図書システム(リニューアル版)の意見交換(1回) <p>[R1年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> リニューアル版図書システムの運用(撫養小学校, 北島中学校) 新規申込校 北島中学校 <p>[R2年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> リニューアル版図書システムの運用 新規申込校 御所小学校 <p><達成状況> ◎</p> <p><課題></p> <p>なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> リニューアル版図書システムの運用を開始。令和2年度中に県下すべての小中学校で切り替え作業を行った。 	A		

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)						実績値						H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項			
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30					R1	R2	
12	●情報発信力の向上を図るため、 団体ホームページのCMSサービス を提供します。	推進	→	→	→	→	→										<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>・新規提供団体 [H27年度] 徳島市社会福祉協議会、海陽町社会福祉協議会</p> <p>[H28年度] 徳島ビルメンテナンス協会、公立学校教職員組合</p> <p>[H29年度] 徳島県市町村振興協会、鳴門市学校給食センター</p> <p>[H30年度] 阿南市社会福祉協議会、徳島県身体障害者連合会</p> <p>[R1年度] 神山町社会福祉協議会</p> <p>[R2年度] 徳島県人権教育研究協議会HP分</p> <p><達成状況> ◎</p> <p><課題> 引き続き運用支援に取り組む必要がある。 サービス提供団体を拡大していく必要がある。</p>	・操作研修、Q&A対応、 トラブル対応など、円滑に CMS運用支援を行うサ ポート体制の継続的に実 施した。	A	
	OCMSサービス提供団体数 ⑤ 12団体 →R2 20団体	12 団体	13 団体	15 団体	16 団体	18 団体	20 団体	12 団体	13 団体	15 団体	16 団体	18 団体	19 団体	20 団体						

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)							実績値							H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2					
13	<p>●クラウドコンピューティング技術を活用することで、県と市町村が業務システムを低廉、効率的に利用できる環境を支援し、県民サービスの向上に努めます。</p>	推進	→	→	→	→	→										<p><H27～R2取組内容と進捗状況> [H27年度] ・利用団体数 電子申請届出システム:県及び24市町村、JoruriCMSシステム:15市町村、DECOシステム:県及び12市町村 ・サービス利用契約の締結と負担金徴収事務 ・電子申請研修会の開催 ・電子申請届出システムASPサービス更新に関する検討支援 ・自治体クラウドシステム(JoruriCMS、DECO)機器更新に関する検討支援</p> <p>[H28年度] 電子申請届出システム:県及び24市町村、JoruriCMSシステム:15市町村、DECOシステム:県及び12市町村 ・サービス利用契約の締結と負担金徴収事務 ・電子申請研修会の開催 ・徳島県自治体情報セキュリティクラウド構築に関する検討支援 ・自治体クラウドシステム(JoruriCMS、DECO)機器更新に関する検討支援</p> <p>[H29年度] 電子申請届出システム:県及び24市町村、DECOシステム:県及び21市町村、自治体情報セキュリティクラウド:県及び24市町村 ・サービス利用契約の締結と負担金徴収事務 ・電子申請研修会の開催 ・自治体運営サイトの自治体情報セキュリティクラウドへの移行検討支援 ・基幹系システムの自治体クラウド化に関する検討支援</p> <p>[H30年度] 電子申請届出システム:県及び24市町村、DECOシステム:県及び23市町村、自治体情報セキュリティクラウド:県及び24市町村 ・サービス利用契約の締結と負担金徴収事務 ・電子申請研修会の開催 ・自治体運営サイトの自治体情報セキュリティクラウドへの移行検討支援 ・基幹系システムの自治体クラウド化に関する検討支援</p> <p>[R1年度] 電子申請届出システム:県及び24市町村、DECOシステム:県及び24市町村、自治体情報セキュリティクラウド:県及び24市町村、(新)ウェブ会議システム:県および24市町村 ・サービス利用契約の締結と負担金徴収事務 ・電子申請研修会の開催 ・自治体運営サイトの自治体情報セキュリティクラウドへの移行検討支援 ・基幹系システムの自治体クラウド化に関する検討支援 ・(新)7市町村情報システム共同利用推進協議会が発足し、市町村システムのクラウド化を推進</p> <p>[R2年度] 電子申請届出システム:県及び24市町村、DECOシステム:県及び24市町村、自治体情報セキュリティクラウド:県及び24市町村、ウェブ会議システム:県および24市町村 ・サービス利用契約の締結と負担金徴収事務 ・電子申請研修会の開催 ・自治体運営サイトの自治体情報セキュリティクラウドへの移行検討支援 ・基幹系システムの自治体クラウド化に関する検討支援</p> <p><達成状況> ◎</p> <p><課題> ・自治体職員に対する必要な情報提供・情報セキュリティレベルの向上支援。 ・基幹系システムの自治体クラウド化の支援。</p>	<p>・各種システムの共同利用が図られた。 ・引き続きシステムの契約を実施する。</p>	A	

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)							実績値							H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項		
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2						
14	人材育成 ●地域情報化を担う実践的なICT人材の育成を図ります。	推進	→	→	→	→	→	→										<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>[H26年度] ・e-とくしま推進財団表彰 (高等教育機関の部) 団体:3団体、個人:4名 (公立小中学校の部) 最優秀校:1校、優秀校:3校、優良校:6校 ・ICTとくしま大賞 4作品(動画3作品、CG1作品)</p> <p>[H27年度] ・e-とくしま推進財団表彰 (高等教育機関の部) 団体:1団体、個人:3名 (公立小中学校の部) 最優秀校:1校、優秀校:4校、優良校:3校 ・ICTとくしま大賞 学生部門:4作品(動画3作品、CG1作品)、小学生部門:1作品</p> <p>[H28年度] ・e-とくしま推進財団表彰 (高等教育機関の部) 団体:3団体、個人:1名 (公立小中学校の部) 最優秀校:1校、優秀校:4校、優良校:11校 ・ICTとくしま大賞 学生部門:3作品(動画2作品、CG1作品)、小学生部門:応募なし</p> <p>[H29年度] ・e-とくしま推進財団表彰 (高等教育機関の部) 団体:2団体、個人:1名 (公立小中学校の部) 最優秀校:1校、優秀校:2校、優良校:4校 ・ICTとくしま大賞 学生部門:3作品(動画2作品、アプリ1作品)、小学生部門:2作品</p> <p>[H30年度] ・e-とくしま推進財団表彰 (高等教育機関の部) 2団体 (公立小中学校の部) 最優秀校:1校、優秀校:2校、優良校:6校 ・ICTとくしま大賞 学生部門:3作品(実写映像1作品、CG1作品、ゲーム1作品)、小学生部門:2作品</p> <p>[R1年度] ・e-とくしま推進財団表彰 (高等教育機関の部) 2団体 (公立小中学校の部) 最優秀校:1校、優秀校:4校、優良校:9校 ・ICTとくしま大賞 学生部門:2作品(実写映像1作品、VR映像1作品)、小学生部門:2作品</p> <p>[R2年度] ・e-とくしま推進財団表彰 (高等教育機関の部) 3団体 (公立小中学校の部) 最優秀校:1校、優秀校:4校、優良校:5校 ・ICTとくしま大賞 学生部門:3作品(実写映像3作品)、小学生部門:1作品</p> <p><達成状況> ◎</p> <p><課題> 表彰制度の周知を図り、幅広い取り組みについて応募いただくよう取り組む必要がある。 GIGAスクール表彰を実施するなど、表彰範囲を拡大させ、人材育成の充実に図る。</p>	<p>・表彰制度を通して、人材育成が図られた。</p> <p>・引き続き表彰制度を実施する</p> <p>・各種情報提供やセミナー等の実施により、実践的なICT人材の育成を図る</p>	A	

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)							実績値							H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2					
15	●未来を切り拓く実践的なICT人材の育成を図るため、高等教育機関等の調査・研究事業を助成します。	拡大	→	→	→	→	→	→									<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>[H26年度] 阿南工業高等専門学校、徳島大学、鳴門教育大学、吉野川高等学校(4校、計134万円)</p> <p>[H27年度] 徳島科学技術高等学校、徳島文理大学、阿南工業高等専門学校(3校、計105万円)</p> <p>[H28年度] 城西高等学校、阿南工業高等学校、徳島大学、鳴門教育大学、徳島文理大学(5校、計224万)</p> <p>[H29年度] みなと高等学校、阿南支援学校、徳島大学、徳島文理大学(4校、計199万円)</p> <p>[H30年度] 徳島商業高等学校、阿南工業高等専門学校、つるぎ高等学校(3校、計149万円)</p> <p>[R1年度] 徳島商業高等学校、阿南工業高等専門学校、つるぎ高等学校、四国大学(4校、計200万円)</p> <p>[R2年度] 四国大学、徳島工業短期大学、徳島商業高等学校(3校、計145万)</p> <p><達成状況> ○</p> <p><課題> 事業の周知を積極的に行い、各教育機関から幅広く応募がなされるように取り組む必要がある。 マスコミ等への資料提供を含め、事業の周知方法を検討する。</p>	・調査・研究事業を通して、ICT人材の育成が図られた。 ・引き続き調査・研究事業を継続する。 ・事業のPRに力を入れる。	B	制度の周知について、今後幅広く広報活動を行ってきたい。
	㊤ 4団体 →R2 5団体	4団体	3団体	5団体	4団体	3団体		5団体	4団体	3団体	5団体	4団体	3団体	4団体	3団体					
16	推進体制 ●「選択と集中」による事業展開と新たな事業を創出します。	展開	→	→	→	→	→									<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>・会員アンケートの実施 ・農業分野へのICT利活用の研究 ・会員交流サロンの検討 ・とくしまIoT等推進ネットワークへの加入等推進 ・R2.9.30賛助会員事業運営委員会を開催</p> <p><達成状況> ◎</p> <p><課題> 来年度以降も賛助会員事業運営委員会を開催し、「選択と集中」による事業展開と新たな事業を創出していく。</p>	・会員への情報提供の充実が図られた。 ・各団体との勉強会、セミナー等の共同開催・後援等の実施した。	B		
	㊤創設	検討	検討	検討	検討	検討		創出	検討	検討	検討	検討	検討	検討	創出					

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)						実績値						H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項					
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30					R1	R2			
17	●運営基盤の確立を図るため、賛助会員を維持・拡大します。	確立	→	→	→	→	→										<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度中の新規入会会員数 個人9名、法人5団体 うち法人会員 株式会社 日立四国システムズ 社会福祉法人 海陽町社会福祉協議会 社会福祉法人 徳島市社会福祉協議会 株式会社 穴吹カレッジサービス サイファータック 株式会社 (年度中の退会会員数 個人15名、法人6団体) ・平成28年度中の新規入会会員数 個人1名、法人4団体 うち法人会員 JBCC 株式会社 一般社団法人 徳島ビルメンテナンス協会 株式会社 ウェブチップス 社会福祉法人 健祥会 (年度中の退会等会員数 個人3名、法人5団体) ・平成29年度中の新規入会会員数 個人11名、法人 1団体 うち法人会員 公益財団法人とくしま産業振興機構 (年度中の退会等会員数 個人3名、法人4団体、 翌年度更新なしの会員数 個人13名、法人2団体) ・平成30年度中の新規入会会員数 個人10名、法人 6団体 うち法人会員 徳島商工会議所 一般社団法人徳島県観光協会 社会福祉法人 阿南市社会福祉協議会 株式会社 金剛 社会福祉法人 徳島県身体障害者連合会 ソフトバンク株式会社 (年度中の退会等会員数 個人2名、法人3団体) 			・新たなICTツールの情報共有や勉強会等の取り組みを通じた勧誘活動を行った。	B	できる限り会員退会の理由の把握に努めていきたい。今後も事業内容の充実に向け、会員の新規獲得また、既会員の継続に努めていきたい。

㊦ 87(法人会員) →R2 100 (法人会員)	87	86	85	82	83		100	87	86	85	82	83	82	91	・令和元年度中の新規入会会員数 個人6名、法人 1団体 うち法人会員 社会福祉法人 神山町社会福祉協議会 (年度中の退会等会員数 個人13名、法人2団体) ・令和2年度中の新規入会会員数 個人13名、法人 10団体 うち法人会員 東海運 株式会社 特定非営利活動法人 どリーまあサービス 株式会社 ひまわり 社会福祉法人 北島町社会福祉協議会 株式会社 姫野組 徳島県人権教育研究協議会 社会福祉法人 上板町社会福祉協議会 学校法人 龍昇学園 株式会社 山全 ニホンフラッシュ株式会社 (年度中の退会等会員数 個人3名、法人1団体) ・会員訪問による意見交換や財団事業の実施に際して会員の勧誘を行った			
㊦ 82(個人会員) →R2 100 (個人会員)	82	76	74	82	77		100	82	76	74	82	77	70	80	・令和2年度中の新規入会会員数 個人13名、法人 10団体 うち法人会員 東海運 株式会社 特定非営利活動法人 どリーまあサービス 株式会社 ひまわり 社会福祉法人 北島町社会福祉協議会 株式会社 姫野組 徳島県人権教育研究協議会 社会福祉法人 上板町社会福祉協議会 学校法人 龍昇学園 株式会社 山全 ニホンフラッシュ株式会社 (年度中の退会等会員数 個人3名、法人1団体) ・会員訪問による意見交換や財団事業の実施に際して会員の勧誘を行った <達成状況> △ <課題> 運営基盤の充実を図るため、引き続き会員の獲得に努める。 キャリア教育などで賛助会員としてのメリットをPRし、新規会員の獲得を目指す。			

番号	主要事業名 事業概要 数値目標	工程(年度別事業計画)						実績値						H26～R2の取組内容と進捗・達成状況 (◎:順調 ○:達成可能 △:達成困難) 課題	総括・評価	最終評価	特記事項			
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H26	H27	H28	H29	H30					R1	R2	
18	●事業の進捗状況等を検証するため、評価委員会を設置します。	強化	→	→	→	→	→	→									<p><H26～R2取組内容と進捗状況></p> <p>[H27年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会設置要綱により評価委員会を設置する。評価委員として外部有識者5名に委嘱する。 ・第1回評価委員会を開催 <p>[H28年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回評価委員会を開催 <p>[H29年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回評価委員会開催(H30.5.14) <p>[H30年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回評価委員会開催(H31.3.14) <p>[R1年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回評価委員会開催(R2.6.9) <p>[R2年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回評価委員会開催(R3.5.10) <p><達成状況> ◎</p>	<p>・評価委員会の評価をもとに、現行の行動計画を総括し、次期行動計画の改訂に反映させる。</p>	A	<p>更なるICT化・DX化に向けて、関係するセミナーを開催していきたい。 また、評価委員会での評価を財団ホームページで公開する。</p>
	㊦ 設置	検討	設置	設置	設置	設置			検討	設置	設置	設置	設置	設置	設置	<p><課題></p> <p>評価委員会の意見の反映・進行管理。</p>				